

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	山梨県					
取組市町村名 取組団体・企業名	身延町 社会福祉法人清和福祉会 認定こども園大野山保育園					
取組の名称	①年長児 月1回調理保育 ②穀物等の収穫までの食農体験 ③年少年中児の調理保育					
実施時期	①毎月第1または第2水曜日に実施 ②ジャガイモの育成・収穫4～6月、ミニトマトの育成・収穫5～7月、田植え・稲刈り6～10月、スイカの育成5～8月、かぼちの育成5～9月、麦刈り6月、さつま芋育成・収穫6～10月、あけぼの大豆の種まき6月、ハロウィン用巨大かぼちの育成6～10月、小かぶの育成4～6月、おざら作り10/9、麦まき12月、枝豆の収穫10月、白菜・ブロッコリー・大根の育成・収穫9～1月、もちつき会12/20 ③まゆだま作り、おざら作り、クリスマスクッキー作り					
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☒ 	☐ 	☒ 	☐ 	☐ 	☐ 
	☐ 	☒ 	☐ 	☒ 	☒ 	☒ 

取 組 内 容	①年長児の調理保育：園手作りの冊子「ぼくとわたしのわくわくクッキング」のレシピに沿って調理保育を行っています。 ②食農体験：田植え、さつま芋の苗挿し、麦刈り、あけぼの大豆の種まきから枝豆・大豆の収穫、稲刈り、芋ほり等、すべての食農体験を地域ボランティアの方々と一緒に実施しています。 ・収穫した麦を使って郷土料理の「おざら作り」をボランティアの方々の協力をいただき一緒にを行います。 ・月１回「ピザの日」として年長児がトッピングを選び、自分たちでトッピングをし手作りのピザ窯で焼き、全園児に振る舞います。 ・収穫したもち米を使用し「もちつき会」を行います。三世代交流を目的として「杵」と「臼」を使い手作りの餅を皆で食べます。年長・年中・年少児が参加し、もちつき体験をします。 ・収穫したさつま芋は「感謝祭」（園行事）でサイドパンケーキを作り、参加者に配ります。 ③年少から年長児の調理保育 ・年１回/年少～年長児がまゆだま作りを実施します ・年１回/クリスマスクッキーを年長児が年中、年少の子どもたちに教えて飾り用のクッキーを皆で作ります。 ・年１回/年少～年長児が地域ボランティアの方々とおざら作りを実施します。 以上の食育・食農教育で、地域の方の力を借りながら体験を通して、食の大切さ、生命の尊さ、自然との関わりを学びながら食への関心を深め、食べ物を大事にすることを学びます。さらに年配の方を敬う心の育成にも繋げていきます。 自分たちで育て、自分たちで収穫することで、「作ってみたい」という調理実習への意欲が出たり、給食に自分たちの育てた食材を使用することで、なかなか食べることが出来なかった苦手な食材まで残さず食べることが出来たりする場面も多く見られました。
---------	--

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	山梨県南巨摩郡身延町下山 2 2 7 0 - 1
取組市町村名 取組団体・企業名	社会福祉法人 下山立正保育園
取組の名称	・野菜の栽培・枝豆の栽培と収穫・育てた野菜を給食に取り入れる
実施時期	5月～3月
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☒ ☒ ☒ ☐ ☒ ☒ ☐ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒
取組内容	野菜の栽培 ・5月に野菜の苗を園庭の花壇やプランターに植える ・園児と一緒に水やりをする ・観察日記をつけて生長を見ていく ・6月～8月に野菜の収穫をする ・8月野菜の絵を描いたりスタンプ遊びをする 枝豆の栽培と収穫 ・7月地元の特産品のあけぼの大豆を収穫する ・10月園児と一緒に大豆を使う ・給食のメニューに収穫をした大豆を使う (ハンバーグ・きな粉・煮物等) 給食だより配布 ・毎月給食だよりを家庭に配布 (内容・マナーや伝統食・栄養について・メニュー等) 衛生指導 ・手洗い・消毒の仕方 ・給食室の消毒や清掃の徹底等 行事食 ・誕生会・子どもの日・七夕・七五三・クリスマス・小正月お団子・節分 ・お楽しみ給食・ひな祭り

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	山梨県
取組市町村名 取組団体・企業名	身延町 身延町立常葉保育所
取組の名称	食育取組（全園児） ・あけぼの大豆種まき・ヤングコーンの皮むき・野菜の苗植え付け・枝豆収穫 他
実施時期	6月～10月
取組内容に該当する 食育ピクトグラム （複数選択可）	☒ 1 みんなで楽しく食べよう ☐ 2 朝ごはんを食べよう ☒ 3 バランスよく食べよう ☐ 4 太りすぎないやせすぎない ☒ 5 よくかんで食べよう ☒ 6 手を洗おう ☐ 7 災害にそなえよう ☐ 8 食べ残しをなくそう ☒ 9 産物も応援しよう ☒ 10 食・農の体験をしよう ☐ 11 和食文化を伝えよう ☒ 12 食育を推進しよう
取組内容	5月 ヤングコーンの皮むき体験 「あっ、でてきた！」と夢中で取り組んでいた。茹でてもらい、昼食時おいしくいただく。 オクラ、ナス、ミニトマト、ゴーヤ、きゅうりの苗植えをする。毎日水やりをし、「はっばが増えたね」と世話をする姿が見られた。7月から8月にかけて毎日いろいろな野菜が収穫でき、昼食時おいしくいただいた。 6月 あけぼの大豆の種まき 秋に収穫するのを楽しみにしている。 10月 あけぼの大豆の収穫（枝豆） たくさん収穫でき、早速茹でてもらいおやつでいただく。 *ダイズレンジャーの本を読み聞かせ、大豆パワーについて学習する。      

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	山梨県
取組市町村名 取組団体・企業名	身延町 身延町立静川保育所
取組の名称	① 曙大豆の収穫と袋詰め体験 ②祖父母交流会さつま芋と枝豆（曙大豆）収穫 ③ 焼き芋大会 ④曙大豆の収穫・大豆ご飯の試食会
実施時期	① 10月15日（火） ②10月22日（火） ② 11月13日（水） ④12月24日（火）
取組内容に該当する 食育ピクトグラム （複数選択可）	☒  ☐  ☐  ☐  ☒  ☒  ☐  ☐  ☒  ☒  ☒  ☐ 
取組内容	① 曙大豆の収穫と袋詰め体験（3歳以上児） ＊地域の農家さんが地元の子どもたちに特産品の曙大豆の枝豆を出荷するための収穫から袋詰めの作業の体験をさせたいと招待してくれた。 ＊枝豆の袋に曙大豆と書かれたシールを貼り、自分で収穫した本格的な枝を持ち帰り、子どもたちも大満足だった     ② 祖父母交流会さつま芋と枝豆（曙大豆）収穫（祖父母10名・園児16名・職員7名） ＊6月に植えたさつま芋と曙大豆が収穫期を迎えたので、祖父母交流会を兼ねて祖父母と一緒に収穫を行う。 ＊職員があらかじめつるを伐採し芋のある場所が分かるよう準備をし、祖父母と子どもと一緒に芋掘りをする。 ＊その後、職員が曙大豆の枝を根元から切り取って配り、木陰で祖父母と枝豆をみんなで収穫する。 ＊収穫したさつま芋や枝豆を見せ合い、たくさん収穫できたことを喜び合う。 ＊さつま芋は数日天日に干し、11月に焼き芋大会を行った。枝豆は祖父母にお土産として持ち帰ってもらう。2度目の収穫は園児のみで行い家にも持ち帰る。園児は午後のおやつに塩ゆでして試食した。「とっても美味しい!!」と喜んでいた。     

③ 焼き芋大会（園児 16 名・職員 7 名）

* 10 月に収穫したさつま芋(シルクスweet)で焼き芋大会を行いました。

* さつま芋を子どもたちが一人ひとり新聞紙に包み水に浸してからアルミホイルで包む作業を行う。

* 数日前から子どもたちと落ち葉を集めておき、あらかじめ掘っておいた穴の中に石を敷き詰め、その上にさつま芋を並べ、落ち葉や小枝・新聞紙をのせ火をつけるまでの一連の作業を皆で行い観察しました。

* 焼き上がった焼き芋を皆で試食し、「甘くて美味しい!!」「もっと食べたい!!」とおかわりをするほど大好評だった。残った焼いもを持ち帰り家庭でも味わってもらい、大好評だった。シルクスweetの名前の通りとても甘い焼き芋だったので来年度もこの品種のさつま芋を栽培したい。



④ 曙大豆の収穫

* 枝豆の収穫時に大豆にする分を植えたままにして置き、11 月下旬に茶色くなったので枝ごと抜き日影に干し乾燥させ、殻が開いてきたところで殻から身を取り出し、大豆の収穫をした。皆、根気よく殻から取り出すことができ思った以上にたくさんで良い大豆が収穫できたと喜び合った。

* 収穫した曙大豆は少しだったが、大豆ご飯を炊き少しずつ味わい、枝豆と大豆の違いを確認し合った。

* その後、大豆を使った料理や大豆製品にはどんなものがあるか話し合ったり、絵カードやカルタなどで大豆製品を確認したり、どんな栄養があり体に良い食べ物であるかを再確認する機会となった。（報告書 様式 3 に記載）

